

# 熊取町議会委員会会議録

## 都市計画道路建設促進特別委員会

平成30年6月1日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[都市計画道路建設促進特別委員会]  
都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況について…………… 1

## 都市計画道路建設促進特別委員会

月 日 平成30年6月1日（金曜）招集

場 所 熊取町役場北館3階大会議室

出席委員	委員長	渡辺 豊子	副委員長	浦川 佳浩
	委員	文野 慎治	委員	阪口 均
	委員	矢野 正憲	委員	河合 弘樹
	委員長	坂上 巳生男		

欠席委員 なし

説明員	町長	藤原 敏司	副町長	中尾 清彦
	企画部長	南 和仁	総務部長	林 利秀
	都市整備部長	泉谷 徹	都市整備部理事	阪上 敦司
	まちづくり 計画課長	馬場 高章	道路課長	山原 栄次
事務局	議会事務局長	北川 雄彦	書記	藤原 孝二

### 付議審査事件

- 1) 都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況について

委員長（渡辺豊子君）皆さん、こんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、これより都市計画道路建設促進特別委員会を開会いたします。

（「11時00分」開会）

委員長（渡辺豊子君）本日の案件は、都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況についての件であります。

なお、発言をされる方は、必ずマイクを使っていただきますようお願いいたします。

それでは、本件について説明を願います。馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）それでは、都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況についてご説明させていただきます。

ここでは主に、昨年6月14日開催の都市計画道路建設促進特別委員会以後の状況についてご説明させていただきます。

資料の1でございます。大阪府による都市計画の見直し（平成29年度）といたしまして、1) 都市計画変更の概要、①泉州山手線でございますが、泉州山手線については、泉州山手線整備促進協議会による地元3市1町の要望などにより、平成28年3月、大阪府都市整備中期計画の中間見直しにおいて平成28年から32年度までの間で着手する路線と位置づけられたことから、事業着手に向け、磯之上山直線から大阪外環状線の延長10キロについて、現計画の8車線から6車線を4車線を基本に、平成30年2月28日、都市計画変更されました。

熊取町域では、6車線から4車線となり、幅員構成の見直しにより32メートルから31メートルに変更されました。

続いて、②大阪岸和田南海線です。

大阪岸和田南海線については、並行する泉州山手線とあわせて大阪府による泉南地域全体の南北方向の広域道路ネットワークの見直しの検証の結果、今後の交通需要に対して泉州山手線、岸和田南海線のいずれか1路線で交通処理可能となったことから、泉州山手線の事業着手に伴い、大阪外環状線以北の路線について平成30年2月28日、都市計画廃止されました。

都市計画の手続の状況ですが、都市計画変更に係る地元説明会といたしまして、平成29年7月27日木曜日、熊取ふれあいセンターで泉州山手線の説明をさせていただいて以降、計3回開催いたしました。以後、資料記載のとおりの手続を経まして、平成30年2月9日、大阪府都市計画審議会、同年2月28日付で都市計画決定告示となっております。

続きまして、2ページへまいりまして、泉州山手線の状況でございますが、資料1としておつけしております図面をあわせてごらんください。

1) 大阪府の方針といたしまして、大阪府では、全線約10キロメートルを以下の3つの区間に分け、うち資料の①と③、(仮称)山直・修斉区間4.2キロと(仮称)せんごく・熊取区間、約3.25キロが事業化候補区間と位置づけられました。

お手元の図では、北のほうから①の山直・修斉区間、②の天神山区間、③のせんごく・熊取区間となっております。

また、事業化候補区間が長大であるため、全区間を同時に事業化することは困難なことから、市町が実施する関連道路や開発などの具体的な状況や整備スケジュールを確認した上で、早期に事業効果が発揮できる工区に細分化し、各工区の着手時期を見定めて、地元で事業の説明をしていく予定と伺っております。

2) 今後のスケジュールでございますが、平成30年度には全線の予備設計、ボーリング調査が実施される予定となっております。平成31年度には大阪府建設事業評価審議会を経て、平成32年度には補助事業採択の予定と聞いております。

続きまして、3、大阪岸和田南海線の状況でございます。

こちらは、資料2の図面をあわせてごらんください。

最初に、1) 第1期事業区間ですが、平成28年3月、大阪府都市整備中期計画の中間見直しにおいて、平成28年から32年度までの間で概成する路線と位置づけられました。平成28年度からは用地測量、道路詳細設計を実施、平成29年度は用地測量、補償算定業務、用地買収を実施しました。平成30年度は補償算定業務、用地買収を実施する予定となっております。また、平成31年度からは、引き続き補償算定業務、用地買収、整備工事が予定されております。

続いて、2) 第2期事業区間でございます。

こちらは、平成28年3月、大阪府都市整備中期計画の中間見直しにおいて、28年度から32年度までの間で着手する路線と位置づけられました。

平成28年度からは用地測量等が実施され、平成30年度は、引き続き用地測量を実施するとともに、道路詳細設計の実施中となっております。また、今後は補償算定業務委託、それから用地買収の予定となっております。平成31年度には補償算定業務、用地買収、整備工事を予定しております。

以上が都市計画道路の状況でございますが、本町といたしましては、今後も大阪府に対しまして、機会あるごとに大阪岸和田南海線の早期事業完了、泉州山手線及び国道170号の4車線化に向けた早期事業着手について強く要望してまいりますので、議員の皆様におかれましては、ご支援のほどよろしく願いいたします。

なお、大阪岸和田南海線の関連事業である(仮称)駅前延伸線の地元説明会を5月25日に開催したところでございます。あわせてご報告させていただきます。

最後に、きょうおつけしております図面の簡単な説明をさせていただきたいと思っております。

資料1は、大阪府から提供を受けた図書となっております。区間は、北から先ほど説明したところでございます。3つの区間に分かれます。赤い破線の部分が計画のラインになっています。それから、オレンジ色で丸が4つほど見ていただければかと思いますが、このあたりが、上の北側の3

つが岸和田市が今事業を計画されている区画整理事業等を行われているエリアになっています。それから、貝塚市のほうへ参りますと、皆さんご承知かと思いますが、千石荘病院の跡地です。せんごくの杜の開発エリアというような形の図面となっております。

それから、資料2にはそれぞれ1期事業区間、それから2期事業区間、850メートル、600メートルに対しまして、それぞれの事業の年次等を説明させていただいている図面となっております。

以上でございます。ありがとうございました。

委員長（渡辺豊子君）以上で説明を終わります。

それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。坂上委員。

委員（坂上巳生男君）ただいまご説明いただきましたが、岸南線の状況の第1期事業区間と第2期事業区間の説明の中で、平成30年度、31年度に関しましては用地買収の予定でありますとか整備工事の予定ということで、これを見ておりますと、第1期事業区間、第2期事業区間、同時進行で用地買収と整備工事が進行するというふうに見てとれるんです。そういう理解でよろしいのでしょうか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）資料の2ページになります。大きい3の1)の点で30年度ということになってございまして、補償算定業務の委託実施予定、あと、あわせて用地買収予定ということになってございます。実際のところ、今年度につきましては物件調査を数件、あと用地買収も数件予定しているというふうに大阪府から報告を受けてございます。

ただ、2期事業につきましては、下の2)になります。30年度用地測量の委託の実施中となっております。あと、道路詳細設計委託の実施中ということになってございまして、引き続き物件補償の算定業務委託を実施する予定で、あと、用地買収につきましても、交渉の後、応じていただけるところについては買収にも入っていくというふうに聞いてございますが、2期については、具体的にまだ何件という数字の報告は受けてございません。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）坂上委員。

委員（坂上巳生男君）そうしますと、文面だけ見ていますとほぼ第1期、第2期、同時進行でというふうに、そういう印象にもとれるんですが、実質的には第2期のほうがちょっとずれて後になってという、そういう感じですよ。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）作業としては、1期だけではなくて2期も並行して進めていただくように町からはお願いしてございます。ただ、ここにも書いていますように、特に2期の部分につきましては用地測量業務がまだ現在進行中ということになってございますので、当然、用地買収する前段の業務がまだ今実施中ということになってございまして、その完了後交渉に入って、応じていただけるところは買収に入るといふふうに聞いてございます。若干のタイムラグというか、ずれはあろうかと思えますけれども、町としましては、1期とか2期というわけではなくて、全線並行してお願いしているという状況でございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）ほかに質疑はありませんか。阪口委員。

委員（阪口 均君）2つとも大阪府の事業というふうなことで理解してよろしいかと思えますけれども、用地の買収とかそういう交渉については大阪府が中心になってやるわけですよ。それとも、そこに熊取町は絡んでいくんですか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）基本的には、大阪府の事業となっておりますので大阪府が用地買収等も実施してまいります。ただ、地元の調整ですとかその辺の協力というのは、町も一緒にということで大阪府には申し上げてございますので、協力できるところは町も協力していくというスタンスになってございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）阪口委員。

委員（阪口 均君）住宅地を抜ける道になると思うんですけれども、用地の買収に絡んでくる件数というのは、今どれぐらいの件数ということであつかいでいらっしゃるんですか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）それは岸南線のほうでよろしいでしょうか。

（「岸南線で結構です」の声あり）

道路課長（山原栄次君）1期事業につきましては、あと残でいきますと10件程度というふうに聞いてございます。ただ、そこには青葉台の一番南側の前面というのは、まだこれからの作業に入りますので、その分は入ってございません。

あと、2期についてはまだ現在測量作業中ということで、その辺の件数の把握もまだ確定してございませんので、数字の報告は受けてございません。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）阪口委員。

委員（阪口 均君）今までに地元説明はされていると思うんですけれども、そのときに大きく出てきた賛成意見とか反対意見とか、そういったものはありますか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）現在、もう1期につきましては具体的に作業は済んでございまして、今個々の交渉に入っている状態でございますので、賛成、反対というのは我々としてはつかんでいないんですけれども、2期につきましてはまだこれからというところで、現在測量作業中ということになってございますので、測量作業に入る際、まず地元自治会に大阪府から測量作業に入りますというPRは行ってございます。

その後個々に、実際関連する方々のところにはビラでPRは行っていますが、個々のご意見というのは、ちょっとまだ伺っていない状態でございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）阪口委員。

委員（阪口 均君）先ほどの馬場課長の説明で最後のほうですけれども、駅前延伸の線のことがちらっと聞こえたんです。ちょっと把握しづらいところがありまして、それについて説明をもう一回してもらえますか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）まだ仮称ですけれども、駅前延伸線につきましては熊取駅から今現在永山病院までは道路が完成してございまして、その交差点から岸和田南海線ができるところまでの延長を今予定してございます。5月25日に関係地権者の皆様には事業の説明をさせていただいたというところでございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）阪口委員。

委員（阪口 均君）それは熊取町の事業としてやるわけですね。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）その部分につきましては町の事業ということになってございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）阪口委員。

委員（阪口 均君）住民の方からよく聞かれるんですけれども、いつになったらできるんやという話がよく出てきます。泉山線はいつぐらい、着手がいつと出ていますけれども、住民の方が興味があるのはいつ完成するんやみたいな、そういう話になると思いますが、そこら辺がばくっとでも言えるような状況であるならば、泉山線がいつ、岸南線がいつというふうな表現で教えてほしいんです。

委員長（渡辺豊子君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）私から泉州山手線について説明させていただきます。

泉州山手線の見込みにつきましては、大阪府から32年度、先ほど事業採択ということで説明をさせていただきましたが、その後、測量、用地買収、それから工事ということになるので、最も早い工区でも5年程度かかるのではないかというふうに聞いております。

それから、泉州山手線の完成時期なんですけど、大阪府からは、現在のところ完成時期については定めていないというふうな形で聞いております。

委員長（渡辺豊子君）阪口委員。

委員（阪口 均君）泉山線のことでちょっと聞きます。

32年からプラス5年、一番最短でと、そういう理解をされていていいわけですね。それと、岸和田市、貝塚市が絡んでくるんですけども、全然用地買収もできていないとかいうふうな話も聞こえてきたりします。そこら辺がてこずってくると今言った年数なんて到底できないのかなというふうな、そういう想像もするんですけども、そこら辺は、用地買収とか具体的に進んでいる状況というのは説明できる部分がありますか。

委員長（渡辺豊子君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）先ほど資料で説明させていただきました事業化候補区間ということで、全線10キロを3つに分けております。正直なところ、全線についての用地買収の状況ということについては大阪府から聞いていない状況です。一番熊取町に身近なせんごく・熊取区間の熊取町域については、以前の委員会でもご説明を差し上げましたが、希望が丘、自由が丘のところに広大な用地が既に確保されていて、町域では約6割という形になってございます。

以上でございます。

委員長（渡辺豊子君）ほかに質疑はありませんか。文野委員。

委員（文野慎治君）今の関連なんですけれど、熊取町域ではもう6割確保されていると、そういう中で3区間の中でのどこからどこを優先という意味合いの中では、熊取町としては、町内の道路事情とかそういうことからすれば、6割確保しているところをやっぴり最優先的にやっていくべきだと。大阪府としても、岸和田市から外環までの関係をやる中で、やっぴり目に見える形でアピールをする、あるいは岸和田市や貝塚市でこれから土地の買収とかそういうことをやっていかないかん部分の中でも、やっぴり出口のほうの部分はどうやって完成しているんやというようなことを政治的なそういう優先順位をつけるということ、熊取町としては最大限そういうニュータウンの中で確保していて、熊取町域は6割もあるんやということ、ぜひやっていただきたいと思うんです。

昨年のタウンミーティング等の中でもこういう動きがあったということで、岸南線と泉州山手線、そういうことを一つのテーマとして、かなり住民の方は夢を見ていると思うんですよ。早く渋滞を何とかせないかん。最大の産業の停滞とか物流の停滞とか人の移動の停滞というのは、外環の渋滞を何とかせないかんという部分と絡めて、ぜひ熊取町の6割確保しているという優位性を、3つの地区に分けたとしてもどンドンアピールをしてほしいと、これは要望しておきたいと思います。もしそれについて考え方があれば。

委員長（渡辺豊子君）泉谷都市整備部長。

都市整備部長（泉谷 徹君）ありがとうございます。要望につきましては、先ほどから説明しておりますように、岸和田市と貝塚市と泉佐野市と本町の3市1町が協議会を組みまして、まずは今回の中期計画に乗せていただいたと。その中で今、委員からおっしゃられています3つの区間にまずは大阪府が分けて、その中でも（仮称）せんごく・熊取区間または（仮称）山直・修斉区間が優先的にまずは事業着手する区間ということで、3つのうちの2つが現在優先的に着手する区間ということになってございます。

それで、先ほどからの本町の町域では約6割がもう既に買収済みやというところで、貝塚市域につきましても何割かの買収済み区間もまたございます。それらも含めまして今後、今までもそんな

んですけれども、あらゆる機会で町長がトップになって大阪府に要望する機会には、熊取町は6割買収済みというのは全面的に押し出して要望しているところでございますので、今後におきましても、この区間をできるだけ早く着手して大阪府の予算を投入していただけるように頑張っていきたいと思っております。ご支援よろしくお願いたします。

委員長（渡辺豊子君）ほかに質疑はありませんか。阪口委員。

委員（阪口 均君）最後に一つお聞きしたいんですけれども、駅前の延伸と岸南線というのはセットで考えていますか。それとも、岸南線が遅かったとしても駅前延伸というのはある程度目標を持って進めていくという、どちらの考えでしょうか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）現在のところは、町としましても岸南線にあわせてということで考えてございます。ただ、岸南線の進捗ぐあいもまだ正直なところ未定というか、一応目標は立てて大阪府も頑張らせていただいておりますが、まだいつ完成するかというのは未定の状態でございますので、我々もそれにおくれをとらないように事業を進めていきたいというふうに考えてございます。

ただ、我々の道路だけが先行でついたところで、岸南線が来ないと効果が発揮されませんので、その辺はタイミングを見ながら事業を進めてまいりたいというふうに考えてございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）阪口委員。

委員（阪口 均君）延伸の最終は煉瓦館と考えていいんですか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）駅前延伸線につきましては、熊取町で道路網計画というのを持っておりますので、それでいきますと駅前から今言う永山病院のところを通過して煉瓦館のところを通ります。まだその先を進んで、ちょうど今で言う旧の国道170号の農協あたりまでつながる計画というのを持っております。ただ、今現在進めようとする区間としましては、永山病院の交差点から岸和田南海線までというふうに考えてございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）ほかに質疑はありませんか。矢野委員。

委員（矢野正憲君）岸南線の2期事業なんですが、先ほど阪口委員からも用地買収等の話が出ておりました。今のところ大阪府からは、用地買収の委託実施中というふうな形で具体的な件数が出ていないというふうな話やったんですが、ただ、今までそういうふうな形で説明会をされたりとかされている中で、こういうふうな凶面もある中で、熊取町としてはどれぐらいの立ち退きがあるというふうなことは予測されているんですか。どれぐらい見積もりをされているんですか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）それにつきましても、現在測量作業等に入っておりますので、実際に物件がどれにかかるのかというのは現在測量作業で確認中ということになってございますので、それを完了次第、報告を受けたいというふうに考えてございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）矢野委員。

委員（矢野正憲君）すみません、もう一度、熊取町として、こういうふうな形で通るであろうというふうな予測を立てながら住民に説明会をされたりとかされているわけですよね、この地区の皆さん来てくださいというような感じで。具体的に測量は今実施中なんで、どこどこがかかるというふうなことははっきり言えないけれども、熊取町としたら何軒ぐらいの家がかかるのかというふうなことは頭の中に入れながらやっぱり交渉していくわけですよね。その辺の見積もりとしたら、ざくっとした見積もりでいいんですけれども、それが何軒ぐらいあるんやというのを聞いているんですが、それも全くノータッチなんですか、熊取町としたら。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。



道路課長（山原栄次君）具体的に住民への説明会というのは、大阪府は現在のところ行ってごいません。まだ今後進めていくかどうかというのは大阪府と協議していきたいというふうに考えてございますが、何度も申し上げますが、現在まだ測量作業中ですので、具体的にここのおうちがかかるとか何軒ほどかかるというのは、現在その測量作業をもって把握したいというふうに考えてございます。我々としても、まだ岸南線の関連の地権者の方と接触したりとかいうのは特別行ってごいません。以上です。

委員長（渡辺豊子君）矢野委員。

委員（矢野正憲君）あと、はっきりわかった時点で用地買収にかかっていくわけですよね、31年、32年ぐらいかけて。これが2年や3年で用地買収できるようなところまでいけるんかというふうなところがやっぱり大きいんですよね、土地の買収が済まないと整備できませんから。その辺が一番難しい問題だと思うんですが、その辺については何年ぐらいで用地買収を完了させるようなことを考えておられるんですか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）これはあくまでも予定というか、段階なので、一応大阪府からは、平成34年度に完成、ただ、これは目標です。あくまでも目標ということで考えているというふうに報告を受けてございます。ただ、委員もおっしゃられるように、要は用地買収、あと物件の補償という交渉がこれから待っておりますので、我々の予定どおり進めばということになりますが、当然交渉の中で難航する可能性もございますので、あくまでも34年というのは目標であって、必ず34年ということではないということだけご理解いただきたいというふうに考えてございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）矢野委員。

委員（矢野正憲君）1期工事のように用地買収できたところから先行的にやってきたというふうなことがあるんですが、第2期工事においても、一番いいのは用地買収が34年までに完了するのがいいんですけども、なかなかそういうふうなことに実際にはいかないような現状が出てくると思うんです。そういった場合は、やはり第1事業のときのよう、できるところから整備をやっていくというふうな、そういうふうな考え方になっているんですか。その辺はどうなんでしょうか。

委員長（渡辺豊子君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）まだ2期については、何度も言いますが、現在測量作業中ということになってございますので、具体的にどこからというのは聞いてごいません。当然、用地買収もまだこれからということになってございます。

ただ、仮に町がするとしても、事業としては一定区間が要は整備しないと効果が発揮されてまいりませんし、そこへ入っていく工事車両とかの進入の経路というのも当然必要になってまいりますので、例えばですけども、今現在フレンド幼稚園の交差点から旧の国道170号までとか、仮にその国道170号から外環までとか、そういう区間で一定区間買収が完了したらかかっていくようなスケジュールになるのではないかと、これはあくまでも想定ということになってございます。

以上です。

委員長（渡辺豊子君）ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

ここで、議事の都合により、一時議事の進行を副委員長にお願いします。

副委員長（浦川佳浩君）委員長から指名がありましたので、一時、副委員長の私が議事を進行いたします。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）皆さんが質問してきていたこととちょっと重複するかもしれないんですけども、まずは泉州山手線のほうなんですけれども、ちょっと確認というか説明していただきたいんですが、①と③の事業化が候補区間と位置づけられたというふうになっております。その中でどこを優先していくかというところで、今後のスケジュールの中に、真ん中辺のところの説明でも、「早期に事

業効果を発揮できる工区に細分化し」という説明があるわけなんです。その「細分化し」というところの説明をもうちょっとしていただきたいのと、そして①と③になった分につきましてどこを先行するのかというところは、31年度スケジュールの中で大阪府建設事業評価審議会というのが説明の中にあるんですけれども、その審議会の中でどこというふうに採択されるということなんですか。その辺の説明を教えてください。

副委員長（浦川佳浩君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）まず、候補区間から工区に細分化ということですが、現時点では3区間のうち①と③を候補区間として事業していこうということだけが決まっておりますが、延長が長いということで、さらに実際に工事する工区というのを別途定めていきたい。これについては、平成30年度に大阪府は検討したいとおっしゃっています。

もう一点、早期に事業効果を発揮できるということであったり、それからその前の具体的な市町村のまちづくりというようなくだりのところについては、今まさに大阪府が説明されているとおりになっていまして、状況を見ながら早期に事業効果ができるところを見定めて着手していきたい。ですから、全線候補区間、工区という形の刻みを今年度検討したいというふうに聞いております。

副委員長（浦川佳浩君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）それは審議会で決定したんですか。

副委員長（浦川佳浩君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）それから、それについては30年度大阪府の判断なんで、建設事業評価審議会というのは、事業を実際に着手するところについて事業を着手しますということで、審議会にお諮りするということに聞いております。

副委員長（浦川佳浩君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）わかりました。そしたら、それは事業評価がありますよというところの説明を府がして、それでもって審議会で諮って、細分化されたどこを着手するのかというところをこの中で確定されるということなんですか。

副委員長（浦川佳浩君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）手順といたしましては今おっしゃっていただいたとおりで、今年度、実際に事業を行うところを決定して、31年度評価審議会にかけるといふふうにお聞きしております。

事業化候補区間を3つ定めまして、その①と③につきまして、最終的に31年度の事業評価審議会において事業着手するかどうかということの評価するということになってございます。

委員長（渡辺豊子君）泉谷都市整備部長。

都市整備部長（泉谷 徹君）今年度におきましては予備設計とボーリング調査を実施します。それで概算事業費等をはじくというのが目的でございます。

31年度につきましては、先ほどの（仮称）せんごく・熊取区間、（仮称）山直・修斉区間が今、事業化候補区間として位置づけられてございます。この2つの区間について、事業効果が発揮するかどうか、事業費に対しまして。という審議を行っていただくというのが31年度の事業評価審議会でございます。ここでオーケーをいただきますと予算化していけるというステップを踏んでいくというのが大阪府の今の事業の流れになってございますので、まずはここで事業評価をしていただいて、32年度から予算を組んで事業を着手していくというような流れになってきてございます。

ただ、31年度補助事業採択となってございますが、岸和田南海線でもやっておりますように、用地測量、詳細設計がこれから入っていくと。その後、用地買収の流れになってこようかなと考えてございます。

先ほどの細分化につきましては、各候補区間、せんごく・熊取区間と山直・修斉区間で言いますが、山直・修斉区間で4.2キロ、せんごく・熊取区間で3.25キロぐらいの距離がございまして。その中で、そしたらどこから着手をやっていくかということは今後検討していくというのがこの内容でございます。熊取でしたら3.25キロを一気に1工区としてがんと工事に入るのではなくて、効

果的に進めていくにはやはり一定の距離を集中してやっていくということで進めていくというふうな、細分化というところで今後検討していきたいということは、大阪府から今聞いているところでございます。

副委員長（浦川佳浩君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） わかりました。ということは、まずは評価審議会の中で評価をされて採択されてから、細分化された事業を着手していくというところというふうに理解させていただきます。

じゃ、そのためには、まずは事業評価をしっかりと受けないといけないということで、町とすれば、すごいこれだけの評価がありますよということを府にPRする必要があるというところなんですか。

委員長（渡辺豊子君） 泉谷都市整備部長。

都市整備部長（泉谷 徹君） 事業評価審議会の資料につきましては基本的に大阪府が作成するものでございます。その内容について、町からは今でしたら6割の先行買収地があるということは重々承知の上で、それらも含めた中で事業評価委員会に諮っていただければ。要はもう事業効果です、これにつきましては、BバイC等についての書類を策定しまして評価委員会に諮りまして、今聞いているところでは、基本的には評価審議会にはお諮りして進めていくんですけども、そこではオーケーいただけるであろうということで大阪府からは聞いてございます。

以上です。

副委員長（浦川佳浩君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） じゃ、府でしっかりとその分については評価を確認するというところで、町がPRをしなくてもいいというところですね。わかりました。

そしたら、関連して、今、外環4車線化のお話もありましたけれども、そこの部分のせんごく・熊取区間を整備するとともに外環の4車線化を同時進行で進めていただきたいという要望書を、あわせてしっかりと府に町としては要望していかないといけないかと思うんです。それは毎年要望もしておられるということですが、この特別委員会といたしましても議会としても要望をしていきたいなというふうに思っております。この分につきましてはちょっと皆さん、質問というよりか、議会の皆さんのご意見を聞かせていただきたいんですが、どうでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

じゃ、そういう方向でまたしていきたいなというふうに思っております。

また、岸南線のほうにつきましては、ちょっとまだ質問です。すみません。

（「質問の中でそんなん諮ったらだめです。委員長に戻ってから」の声あり）

委員（渡辺豊子君） そうですか、わかりました。すみません。

じゃ、質問の中で、岸南線につきましては、本当に地元の方、どこに道が自分と関係あるのかどうかというところの不安を持っておられる方もたくさんいらっしゃいまして、どういう計画になっているのかというところ、今のところ全然地元には説明がないというところですので、やっぱりその辺の説明というものは、それは測量してからでないと関係者にしか交渉できないお話になるというところかもしれないんですが、実際のところ、やっぱりその周辺の方は不安をいろいろ持つてはる方もいらっしゃいますので、その辺の説明というものは町としてしっかりとまた何らかの形で説明会をしていただきたいなというふうに思っておるんです。その辺はどうでしょうか。

副委員長（浦川佳浩君） 山原道路課長。

道路課長（山原栄次君） 先日、5月25日に（仮称）駅前延伸線の関係地権者の方に説明した際にも、当然、ちょうど岸南線との交差点付近の地権者の方については当然岸南線の質問というのかなり多くいただいております。委員がおっしゃられるように説明がないというか、よくわからないというご意見もございましたので、我々、戻った後に、大阪府には住民に対して説明会等必要だということで、すぐに申し伝えてございます。まだ実施されるかどうかというのは今大阪府で検討中ということで聞いてございますので、できるだけ早期に住民への説明というのを行っていただくようお

願いはしてございます。

以上です。

副委員長（浦川佳浩君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） わかりました。また府のほうに確認をお願いしておきたいと思います。

以上で終わります。

副委員長（浦川佳浩君） それでは、以後の議事の進行は委員長をお願いします。

委員長（渡辺豊子君） すみません、では、先ほど外環状線の4車線化につきましてのこの特別委員会として要望書提出につきまして、皆さんのご意見も賜りたいと思いますが、どうでしょうか。よろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

じゃ、それでまたまとめさせていただきたいと思います。

以上で質疑を終わります。

これをもって、都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況についての件を終了いたします。

以上で、本日の案件が終了いたしました。

---

委員長（渡辺豊子君） そのほか、何かご報告等があれば承ります。

（「なし」の声あり）

ないようですので、以上で都市計画道路建設促進特別委員会を閉会いたします。どうもお疲れさまでございました。

---

（「11時43分」閉会）

---

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

都市計画道路建設促進特別委員会委員長

渡辺豊子